

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【公開番号】特開2002-97158(P2002-97158A)

【公開日】平成14年4月2日(2002.4.2)

【出願番号】特願2001-216132(P2001-216132)

【国際特許分類】

A 61K 45/00 (2006.01)

A 61K 31/19 (2006.01)

A 61P 25/16 (2006.01)

【F I】

A 61K 45/00

A 61K 31/19

A 61P 25/16

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

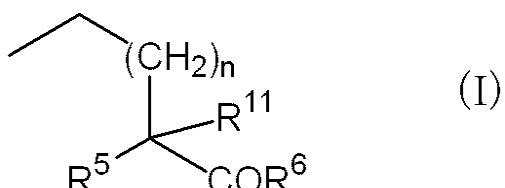
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】一般式(I)

【化1】



(式中、R⁶は、ヒドロキシ基、C1～4のアルコキシ基、フェニル基1個で置換されたC1～4のアルコキシ基、または、NR⁹R¹⁰基

(基中、R⁹およびR¹⁰は、それぞれ独立して

(i)水素原子、

(ii)C1～4のアルキル基、

(iii)フェニル基、

(iv)C1～4のアルコキシ基またはカルボキシル基で置換されているフェニル基、

(v)窒素原子1個含有する4～7員の複素環、または

(vi)フェニル基で置換されているC1～4のアルキル基、

C1～4のアルコキシ基またはカルボキシル基で置換されているフェニル基で置換されているC1～4のアルキル基、または

窒素原子を1個含有する4～7員の複素環で置換されているC1～4のアルキル基、

(vii)それらが結合する窒素原子と一緒にになって、窒素原子を1または2個含有する4～7員の複素環、または窒素原子と酸素原子を1個ずつ含有する4～7員の複素環、または

(viii)それらが結合する窒素原子と一緒にとなって、アミノ酸残基を表わす。)で示される基を表わし、

(1)nは、1を表わし、

R^{11} は、水素原子を表わし、

R^5 は、(1個の炭素原子が1~3個のフッ素原子で置換されているC1~10のアルキル) - CH_2 - 基を表わし(ただし、 R^5 は、 $F - (CH_2)_5 -$ 、 $F - (CH_2)_6 -$ 、 $F - (CH_2)_7 -$ 、 $F_3C - (CH_2)_2 -$ で示される基は表わさない。)、または $(2)_n$ は、0または1を表わし、

R^{11} は、水素原子または塩素原子を表わし、

R^5 は、

C3~10のアルキル基、

C3~10のアルケニル基、

C2~10のアルコキシ基、

C2~10のアルキルチオ基、

C3~7のシクロアルキル基、

フェニル基、

フェノキシ基、

$F - (CH_2)_m -$ 基(基中、 m は5~7の整数を表わす。)、

$F_3C - (CH_2)_2 -$ 基、

(塩素原子1または2個で置換されているC2~10アルキル) - CH_2 - 基、

(C1~4アルコキシ基、C3~7のシクロアルキル基、フェニル基またはフェノキシ基から選ばれる1または2個の置換基で置換されているC1~5のアルキル) - CH_2 - 基を表わすか、または

R^5 は、 R^{11} と一緒にになってC3~10のアルキリデン基を表わす。)

で示される化合物、その非毒性塩、またはその水和物を含有してなる、パーキンソン病またはパーキンソン症候群の予防および/または治療剤。

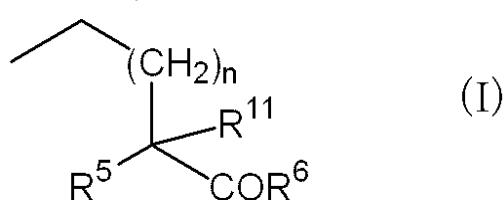
【請求項2】 n が1、 R^{11} が水素原子、 R^5 がC3~10のアルキル基、 R^6 がヒドロキシ基である請求項1に記載の剤。

【請求項3】 (R) - 2 - プロピルオクタン酸、その非毒性塩、またはその水和物を含有してなる請求項1記載の剤。

【請求項4】 パーキンソン病またはパーキンソン症候群が、振戦、無動、または筋硬直の症状を呈する請求項1記載の剤。

【請求項5】 一般式(I)

【化1】



(式中、 R^6 は、ヒドロキシ基、C1~4のアルコキシ基、フェニル基1個で置換されたC1~4のアルコキシ基、または、 NR^9R^{10} 基

(基中、 R^9 および R^{10} は、それぞれ独立して

(i) 水素原子、

(ii) C1~4のアルキル基、

(iii) フェニル基、

(iv) C1~4のアルコキシ基またはカルボキシル基で置換されているフェニル基、

(v) 室素原子1個含有する4~7員の複素環、または

(vi) フェニル基で置換されているC1~4のアルキル基、

C1~4のアルコキシ基またはカルボキシル基で置換されているフェニル基で置換されているC1~4のアルキル基、または

室素原子を1個含有する4~7員の複素環で置換されているC1~4のアルキル基、

(vii) それらが結合する室素原子と一緒にになって、室素原子を1または2個含有する4

~ 7 員の複素環、または窒素原子と酸素原子を 1 個ずつ含有する 4 ~ 7 員の複素環、または

(viii) それらが結合する窒素原子と一緒にとなって、アミノ酸残基を表わす。) で示される基を表わし、

(1) n は、1 を表わし、

R¹¹ は、水素原子を表わし、

R⁵ は、(1 個の炭素原子が 1 ~ 3 個のフッ素原子で置換されている C 1 ~ 10 のアルキル) - C H₂ - 基を表わし (ただし、R⁵ は、F - (C H₂)₅ - 、 F - (C H₂)₆ - 、 F - (C H₂)₇ - 、 F₃C - (C H₂)₂ - で示される基は表わさない。) 、または

(2) n は、0 または 1 を表わし、

R¹¹ は、水素原子または塩素原子を表わし、

R⁵ は、

C 3 ~ 10 のアルキル基、

C 3 ~ 10 のアルケニル基、

C 2 ~ 10 のアルコキシ基、

C 2 ~ 10 のアルキルチオ基、

C 3 ~ 7 のシクロアルキル基、

フェニル基、

フェノキシ基、

F - (C H₂)_m - 基 (基中、m は 5 ~ 7 の整数を表わす。) 、

F₃C - (C H₂)₂ - 基、

(塩素原子 1 または 2 個で置換されている C 2 ~ 10 アルキル) - C H₂ - 基、

(C 1 ~ 4 アルコキシ基、C 3 ~ 7 のシクロアルキル基、フェニル基またはフェノキシ基から選ばれる 1 または 2 個の置換基で置換されている C 1 ~ 5 のアルキル) - C H₂ - 基を表わすか、または

R⁵ は、R¹¹ と一緒にになって C 3 ~ 10 のアルキリデン基を表わす。)

で示される化合物、その非毒性塩、またはその水和物を含有してなる、脳内ドーパミン量増加剤。

【請求項 6】 (R) - 2 - プロピルオクタン酸、その非毒性塩、またはその水和物を含有してなる請求項 5 記載の剤。